

## 「国分小学校の文化財探訪学習～舞鶴探検隊～の取組」

### 1 学校名

霧島市立国分小学校

### 2 学年・人数

6年生（153人）

### 3 日時・場所

#### (1) 事前学習

令和2年4月11日(土) 9時25分から10時10分 国分小学校体育館

#### (2) 史跡探訪

令和2年5月15日(金) 8時50分から11時30分 国分小学校周辺

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

- ・大隅国分寺跡（おおすみこくぶんじあと）：奈良時代
- ・舞鶴城跡（まいづるじょうあと），島津義久墓所（しまづよしひさぼしよ），朱門（あかもん），金剛寺跡（こんごうじあと），伊勢神社（いせじんじゃ）

：江戸時代

#### (2) 特徴

国分小学校近くの大隅国分寺は、「国分」という地名の由来となった史跡である。また、国分小学校は舞鶴城跡に建てられており、周辺には舞鶴城築城の中心となった島津義久公に関係する史跡が散在する。

国分小学校周辺は、文化財の宝庫である。身近に存在する郷土の歴史・文化財について学習した国分小学校の子供たちが、校区の歴史を誇りにし、語り継いでいく学習活動である。

### 5 保存会や地域との連携の具体

霧島市国分の歴史に詳しい鈴木順一 霧島市役所福山支所長（前社会教育課文化財係長）と連携した。

学校職員との打ち合わせ、事前学習、史跡探訪フィールドワークという過程の中で学習に臨んだ。

鈴木支所長は専門性が高く経験も豊富であり、分かりやすい説明と子供たちの質問への丁寧な対応が見られた。

### 6 活用の取組の工夫した点

事前学習を実施し、郷土に対する興味や関心を高めることに努めた。事前学習では、霧島市役所福山支所長（前社会教育課文化財係長）に講師を依頼し、スライドや冊子などの資料を通して、学校周辺の文化財への事前学習を行った。このことが、実際のフィールドワークを行うための意欲付けとなった。

校外における史跡フィールドワークでは、事前学習したことをもとに現物にふれることによってさらに意欲を高めることができた。

## 7 取組の様子



## 8 参加児童・教職員の感想・意見

- 国分小学校は舞鶴城の跡で、約400年前、島津がいて、戦の準備などいろいろなことをしていたんだろうと想像すると、ますます歴史が好きになりました。
- 約1200年前に人々の生活を守ろうという願いを込めて建てられた大隅国分寺。その六重の塔は、設置当時は色付きの石だったそうです。なんと今もその色の一部がかすかに残っています。すごい！
- 島津義久公の墓に来ると舞鶴城の城下町を守りたいという思いが伝わってくるので一番のお気に入りです。
- 現在の城山公園は、隼人城跡だそうです。古代隼人の砦として築かれた山城で、舞鶴城が攻められたときのために、後攻めの城としての役割を果たしたそうです。
- 指宿・鹿児島・国分の3つの伊勢神社を線でつないだ三角形の中心に桜島が入るように作られているとはびっくりです。
- こんなにも身近なところにいろいろな史跡があったとは知らなかった。国分小学校がお城跡にあることを誇りに、国分小学校の伝統を守りながら6年生らしく過ごしていきたい。
- 身近な場所にある歴史にふれることで、子供たちは地域についての理解を深めることができた。特に、霧島市国分の歴史に詳しい鈴木氏の資料提示や話に強く興味を示した。また、教師自身も知らなかったことがたくさんあり、学ぶことの多かった学習となった。